

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)	◎	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・不要不急の外出自粛要請でまとめ買いによる買上点数が増加し、既存店売上が前年を上回っている。
	◎	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・近隣の百貨店や大型ショッピングセンターが閉店となるなかで、ゴールデンウィーク期間中も休むことなく営業できたため、売上は前年比150%、来客数は前年比138%となっている。また、県下にある当店と同じブランドの他店舗が全て閉店していたため、遠隔地から来店する客も多く、予想だにしない好結果となっている。
	○	一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で前年を上回る状況にあるが、4月の状況からすると落ち着いてきており、これ以上の伸びはない。
	○	スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は増えていないが、買上単価や買上数量は増加している。
	○	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる特需で1人当たりの販売量や客単価が上昇している。
	○	スーパー（管理担当）	販売量の動き	・買上点数の増加により売上が上昇している。新型コロナウイルス需要と通常売上の線引きは難しいが、新型コロナウイルスによる部分は大きい。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けに比べて1割は増加している。
	○	家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる自粛のなか、来客数は増加している。
	○	乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・来客数が徐々に戻りつつあるが、状況は良くない。
	○	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・固定通信サービスへの新規加入件数が増加している。施工業者数が確保できており工事件数も高水準で推移している。
	○	テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で臨時休園していたが、緊急事態宣言の解除に伴い、県内限定ではあるが再開園した。新型コロナウイルス対策を万全にしていること、屋外施設であることから前年よりは減少しているが、想定より多くの客が訪問している。
	○	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・2月の下旬から新型コロナウイルスの影響で無観客となり、ネット投票のみの販売となっているが、ネット会員が増加したことにより、1日の平均売上が増加している。
	○	住宅販売会社（営業担当）	販売量の動き	・建て売り物件の申込みが増加傾向にある。
	□	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・3～5月にかけて売上がどんどん減少しており、緊急事態宣言が解除されても、回復のスピードは遅い。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・学校の休校や外食産業の休業など新型コロナウイルスによる影響で売上は前年を上回っているが、来客数は前年割れが続いている。
	□	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが客に大きな影響を及ぼしている。自粛が明けてからも、イベントや観光などの中止が相次ぎ、想定以下の売上が続いている。
	□	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・2月頃から徐々に来客数が減少し始め、4月に緊急事態宣言が出されてからが底となり、ゴールデンウィーク明けからは客足が戻り始めている。
	□	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・3か月前と同様、来客数は少なく、売上にも変化がない。
	□	乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから状況はやや改善しているが、新型コロナウイルスの影響で来客数は前年の30%まで落ち込んでいる。
	□	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・車の販売台数は、4月が悪すぎたので比較できないが、5月も大幅に前年を割り込んでいる。
□	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続く。	
□	都市型ホテル（企画担当）	それ以外	・緊急事態宣言により限定的な営業活動でしのいでいるなかで、一部エリアでの宣言解除による緩和の影響で、宿泊の稼働はやっと10%に届いている状況である。宴会は先の予約のキャンセルが鈍化しているが、新規案件は全く入ってこない。	
□	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、回復の動きは鈍い。	

□	通信会社（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなると考えていたが、家で過ごす人が多く、テレビやインターネットを必要とする客がいるため、特に変化はない。
□	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、先が見えてきたことで、将来的な不安感は軽減されているが、小規模の事業者では当面の不安感は大きい。消費者の視点では実際の購買に向かうのはまだこれからである。提供側は対面営業は別としても販促手段は間断なく実施してきたが、客側の実際の動きにつながるのはいささか先になる。
□	通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・外出自粛で販売は大幅に減少している。
□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・例年春になるとリフォームを考える客が増加していたが、現状では2～3か月前からの動きが鈍ったままで、すぐには好転しそうにない。
▲	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がやや弱まり、少しずつではあるが、来客数が回復しつつあるものの、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
▲	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・最悪の時期は乗り越えたものの、以前の状況まで回復するには程遠い。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で近隣の観光施設が休館しているため、観光客の来店がなく、ゴールデンウィークや週末の来客数が大幅に減少し、来客数は前年比74.2%となっている。客単価は前年比115%と上昇しているが、来客数の減少をカバーしきれず、売上は前年比86%となっている。
▲	スーパー（店長）	単価の動き	・以前と比べ、客が必要な物しか購入しないようになっている。例えば野菜などもカット野菜など日々必要な物だけを購入している状況で、客単価も2か月前と比べ、100～200円低下している。
▲	スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛で来客数が減少している。ただ、大量のストック食材を購入する客が多いことや商品単価が高止まっていることから売上は増加している。
▲	家電量販店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、売上は前年比90%台で推移しているものの、本来ゴールデンウィークでレジャーに使う予定だった支出が、家電等の生活必需品に回っているのか予想よりも落ち込みは小さい。特にホットプレートやオープンレンジ等の調理家電が大きく伸長している。
▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販促活動ができておらず、来客数や成約台数が落ち込んでいる。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、まだ景気は回復していないが、緊急事態宣言発令前の売上と比較すると改善傾向がみられる。ただ、飲食店舗は相変わらず厳しい状況である。
▲	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
▲	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
▲	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・先行きに不安を感じている客が多く、大きな消費に対して慎重になっている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・道を歩く人や車が通る台数などが減少し、近隣の駅前通りも寂しい感じで人の行き来がない。
×	商店街（理事）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による外出自粛で客の様子が観察できないほど人通りがない。
×	商店街（代表者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で非常に厳しい状況である。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響をすごく受けている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は甚大で、客は飲食店はもとより物販店へ出向くのも控えており、地元の駐車場利用も以前に比べ圧倒的に少なくなっている。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少し、また、3つの密にならないように営業しているので、効率が悪く、売上も良くない。
×	一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。

×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減しており、県外客は皆無である。
×	一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・全国的に靴製造メーカーの受注が落ち込んでおり、製造メーカー倒産の可能性が高まっている。
×	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークにイベントが中止となり、多くの部門が休業したことから、売上が前年の半分以上以下となっている。
×	百貨店（営業担当）	それ以外	・ゴールデンウィーク期間も館は営業を継続していたが、婦人服の取引先ショップは8割以上が休業していた。営業しているショップに入っても目的買いのみでふだんより接客時間も短くなっている。
×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で4月の後半から5月の中旬まで閉店していた。開店後も来客数は全く回復せず、閉店前よりも厳しい状況である。
×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による長期休業のため売上は激減しており、営業再開後も日々の来客数は6～7割程度で売上、来客数共に劇的な改善は見込めない。
×	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、催事が中止となり、営業活動も自粛しているため、非常に厳しい。
×	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・5月11日から営業を再開したが、まだまだ来客数は少なく厳しい状況が続いている。外販活動においても客の購買意欲は低く、特に宝飾や美術品などの高額商品については案内できる状況ではない。
×	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響により高額商品やファッション部門の売上の減少が大きい。来客数は回復傾向にあるが、買上単価の低下による売上の減少は収まらない。
×	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品の売上は横ばいであるが、衣料品の売上の落ち込みが激しい。
×	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数だけでなく、まとめ買いも減少している。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3～5月は新型コロナウイルスの影響で非常に厳しい状況である。過去15年間の中でも来客数は最も少なくなっている。
×	コンビニ（支店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、客の行動シーンが大きく変わっており、通常には戻っていない。また、来客数も減少が続いている。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で4～5月は展示会の開催や訪問営業ができず、厳しい状況である。
×	家電量販店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言や不要不急の外出自粛により来客数が減少している。
×	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減し、新規の客も全くいない状況である。
×	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で訪問活動が制限され、5月の販売台数は前年比56%と大変厳しい状況である。
×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量が大幅に落ち込んでおり、前月が33%減、今月は50%にも届かない。
×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、個人の収入減少で消費は落ち込んだままである。国民1人当たり10万円が給付されるが、収入減少のため生活費で消えてしまい、消費の拡大にはつながらない。
×	住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客が自粛している。
×	その他専門店〔布地〕（経営者）	来客数の動き	・前月同様、街を歩く人が非常に少なく、店を開けていても客が入店しない状況である。
×	その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が少なく、当地の基幹産業である観光業も窮地に陥っている。
×	その他専門店〔土産物〕（経営者）	来客数の動き	・観光客が非常に少なく、観光バスなども皆無のため土産物が全然売れていない。店は県境に位置しているが、県をまたぐ移動が制限されて来客数が激減している。
×	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で実質休業状態であったため、来客数や売上が伸びていない。自粛解除後の動きを期待したいが、第2波、第3波の危惧もあり、どこまで回復してくるか不透明な部分が多い。

×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・緊急事態宣言の発令に伴い、時短営業を続けていたが、4月27日～5月17日は店を休業したため、売上は前年の80%まで落ち込んでいる。
×	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・新しい生活様式が示され、客の意識が過剰気味になっている。飲食店としても、集客策が取り難く苦戦している。
×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で人が全く外出していない。客が来ないので商売にならない。
×	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により6日までは営業自粛、7日から時間を短縮し営業再開している。再開しても近隣の客の流れは非常に少なく、来客数は前年に比べて約8割減少している。客層も以前は多かった観光客がほぼ0人の状態、会社員の利用も当月はなく、客からは新型コロナウイルスが収まってから来店するとの電話もちらほらかかっている。
×	スナック(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で4月初旬から休業しているクラブやスナックが多い。当店は5月中旬から営業を再開したが、客足が伸びず、売上は通常の1割程度まで落ち込んでいる。
×	観光型ホテル (副支配人)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人の動きが止まっている。
×	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気が下向きになっており、来客数の増加が見られない。
×	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・5月末まで休館で、緊急事態宣言が解除されたものの県境を越える往来は引き続き不要不急の外出を除き自粛要請されており、6月の予約状況も大幅な減少となっている。
×	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で4～5月一杯会社は休業している。
×	旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で現時点で個人、団体共に取扱はなく、非常に厳しい状況が続いている。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、営業を再開する店が出てきて、徐々にではあるが、客も戻り始めている。ただ、利用客は少なく、依然として厳しい状況である。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の街に人が全くいない状況で、タクシーの稼働台数を半分に減らしているが、売上は以前の半分以下まで減少している。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で乗車率は低下している。
×	放送通信サービス (総務経理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響を受ける業種が顕著に出てきていると感じる。当社はB to Cサービスなので、今後、家計からの料金支払に反映してくると予想している。時節柄のものもあるかもしれないが、若干延滞料金の回収率が下がっているため今後注視する必要がある。
×	通信会社(広報担当)	来客数の動き	・来客自体がない。
×	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・月額利用料の支払が困難になり、解約、一部サービスの解約、低廉なプランへの見直しを行う客が増加している。
×	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・4月18日～5月13日の間、感染防止のため閉園しており、5月14日から開園はしたものの、飲食施設、建物施設、キャンプ場等の利用ができない状態が続いており、来園者数が大幅に減少している。
×	テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
×	観光名所(館長)	来客数の動き	・緊急事態宣言に伴い、臨時休館したが、当分の間は来館も少ない。
×	ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で予約が大幅に減少、特に、土日の予約が悪く、コンペの減少が影響している。
×	その他レジャー施設[温泉センター](担当者)	それ以外	・4月の中旬から5月22日まで休業しており、営業を再開したが、来客数はかなり激減している。
×	美容室(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛が要請されたことにより、予約のキャンセルが相次いでいる。
×	美容室(経営者)	来客数の動き	・客が来ず、売上が上がらないため、厳しい経営状況である。
×	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・客の確保が困難で、リモート対応も進めていかないといけないが、対応に時間が掛かっている。

	×	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で引き合いがあった物件が軒並み中断している。
企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で状況は良くないが、以前よりは良くなっている。
	○	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・宅配便は外出自粛の広がりですネット通販の巣籠り需要が増加している。法人は、休業やテレワークで企業間の流動が減少しているが、個人に販路を求めた企業の発送は増加している。また、外出自粛による在宅率の上昇で生産性も向上している。母の日はこれまでにないほどの需要となっている。
	□	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注のタイミングで技術職員の一時的な待機状態が発生しているものの、予定される物件で手一杯の状況は継続している。
	▲	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月に続き、製造数量が減少している。
	▲	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気が悪くなってきている。影響を受けるのが遅れ気味な業種であったが、これからは確実に受注や販売量に影響が出てきそうである。
	▲	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の影響により工場の稼働率を落として操業している。引き続き景気の不透明感は続く。
	▲	化学工業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
	▲	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車向け製品受注が5月に入り極端に減少している。
	▲	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
	▲	不動産業（総務担当）	それ以外	・前年同月に比べ、来客数が92%、成約件数が80%と落ち込んでいる。
	▲	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注が減少傾向になっている。
	×	農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・緊急事態宣言が解除されたといっても、まだまだ末端の動きは回復しておらず、自粛モードが続いているため、買手が少ない。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・スーパーや小売店からの受注量に変化はないが、土産品は70%減少、業務用は80%減少と大変厳しい状況である。
	×	繊維工業（監査担当）	受注量や販売量の動き	・4月までの累計売上実績が全事業所で前年を下回った。小売店が全て休業しているので、季節商材が全く売れていない。
	×	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・客の生産調整があり、注引量が大幅に減少している。このため、操業日数を維持したまま生産すると余剰人員が発生することから臨時休業を実施している。
	×	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
	×	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で注文が急減している。
	×	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で雇用調整助成金を活用し、帰休を実施している。
	×	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販売量が減少している。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・緊急事態宣言が解除されても国内外共に移動が制限されていることから下向きの状況が続いている。
×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・一部、Webによる商談締結があるようだが極めて限定的で、特にクロスボーダーの本格的な商談再開にはもうしばらく時間が掛かる。	
×	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は通常の1割程度となっている。	
×	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・国際的な荷動きの悪化だけでなく、国内の荷動きも悪化してきており、景気は過去に経験したことがないほど厳しい状況になっている。	
×	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・客の受注量が大幅に減少している。	

	×	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響ではほぼ全ての業種の業務が滞り、設備投資の抑制や更改の延期が進んでいるため、通信機器販売が伸び悩んでいる。また、自社においてもリモートワークを取り入れたり、入社しても積極的な営業活動を自粛していることから売上も伸びていない。
	×	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止の動きとして、P CやW e b会議などI C T関連の商材への引き合いは増加したが、データセンターの利用や問合せは極端に減少している。外出が極端に制限されたことで、遠隔で確認ができない商材の問合せが激減している。
	×	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が長引き、経済や消費は停滞しており、取引先の資金繰りはますます悪化している。
	×	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で地元完成車メーカーの世界販売が大幅に減少し、在庫が積み上がっており、前年比で7割減程度の生産調整が続いている。このため、系列の地元部品メーカーの受注も前年比で7割減程度の大幅減少となっている。
	×	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売分析や集合型研修業務などコンサル系業務が減少している。必須でない業務ほどしわ寄せを受けている。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(中国)	□	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・宿泊業や飲食業を中心に有効求人数が前月を大幅に下回っている。
	▲	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、地元完成車メーカーを筆頭に工場がフル稼働していない。一部のみ稼働又は縮小して稼働している状況が多く見受けられる。当然売上も減少傾向である。今年度の新卒採用については、数は前年並みと答える企業が多いが、欲しい人材がいなければ、無理に採用しないため、結果的に全体的な採用人数は減少する見込みである。
	▲	職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人の取消しや解雇が発生している。
	▲	学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・企業の倒産や採用削減などの情報を耳にしており、景気はやや悪くなっている。
	▲	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人数が例年よりも少ない。
	×	人材派遣会社（支社長）	周辺企業の様子	・地元完成車メーカー関連の企業では5月より6月の方が業績が悪化する企業も多く、派遣社員の雇用の終了も増加している。製造、小売、物流は大変厳しく、持ちこたえているのは医療、介護、食品関係くらいである。
	×	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・全国的な緊急事態宣言が発令された4～5月に当初予定していた採用スケジュールが延期となったが、5月末からやっと動き出している。延期でなく、中止になった案件もあり、求職者におおむね事例も出ている。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	採用者数の動き	・一部、接客対応を伴うサービス業では来春の新卒採用を当初計画から大幅に削減したり、採用停止を実施したりする企業が散見されている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・当県の3月の有効求人倍率は記録が残る1962年以降で2番目に高く、全国1位となったものの、これは新型コロナウイルスの影響で全国の雇用情勢が悪化するなかで、当県の減少幅が比較的小さかったことによる結果にすぎない。現在は悪化の一途である。
	×	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、派遣会社からの求人がなくなったサービス業が前年同月比で8割減となったのが目立っている。これは新型コロナウイルスの影響で製造業を始め多くの業種で雇用環境が悪化し、特に派遣業が大きな影響を受けたことが原因とみられる。
×	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期と比較すると26.1%減、有効求人数は18.3%減と大幅な減少となっており、新型コロナウイルスが大きく影響している。新規求人数の直近3か月を同様に比較しても14.3%の減少であった。産業別も同様に、一部の業種を除いて軒並み減少している。	

	×	民間職業紹介機関（職員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・外出機会が激減しており、多くの方が不必要な出費を避けている。消費の落ち込みは歴然としており、一時期のマスクや消毒液などのように必要とされるものは需要に供給が追いつかず、GDPを下げる要因にもなっている。
	×	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬まで休業する飲食店やサービス業の企業が多く、求人はほぼなく求職者があふれている状況だった。また、一般企業においても、今後の見通しが立たないことから、採用活動を一旦ストップするところが多い。